

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2024
Jtitle	新版 窮理図解 No.41 (2024. 10) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應理工の電極のかぐく：電気化学でサステナブル社会を紡ぐ 化学科 山本崇史 (准教授)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000041-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



●『有機電気化学 —基礎から応用まで—』

(淵上 寿雄 編著 跡部 真人・稲木 信介 共著 コロナ社)

いま力を入れて取り組んでいる研究テーマ「有機電気化学・有機電解合成」の教科書。もちろん、マインツへの短期留学の際には持って行きました。これまでに何度も読み返していることに加えて、一緒に研究に取り組んだ学生にも貸し出してきたため、写真の本は3代目です。また、同じ内容の洋書Fundamentals and Applications of Organic Electrochemistry. Synthesis, Materials, Devicesも発売されているため、それぞれを見比べることで英語表現を学ぶこともできます。

●『B'z LIVE-GYM Pleasure 2008 GLORY DAYS』

(DVD VERMILLION RECORDS)

中学生の頃から30年以上B'zが好きで、ここ25年は毎年欠かさずとなくライブに参戦しています(稲葉浩志さん・松本孝弘さんのソロ活動イヤーは、ソロライブ)。忘れられないライブはたくさんありますが、1つ選ぶとしたら迷わずこのライブ。肉体的にも精神的にも疲れていると感じたときは、アンコール2曲目「RUN」の前のMCを聴いて(思い出して)、背中を押してもらっています。ちなみに、2008年9月21日の日産スタジアムでのライブでは、このMCを聴いて号泣しました。

●『思考の方法学』

(栗田 治 著 講談社)

どのようにして「論理的な思考に基づいて物事を理解」し、「適切な計画を立てて課題に対処」するかが非常に分かりやすく解説されています。この本で紹介されているモデル分析は、研究テーマの立案・実施・検証についてはもちろんのこと、日々の暮らしの中での目標にも当てはめることができると思います。高校生のみなさんも目標(テストの点数や部活動のスキルアップ)を設定するときに思考の方法学を活用してみてもいいでしょうか? ちなみに、著者の栗田治先生(慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授)とは学部内の委員会でご一緒する機会が多く、以前からいつも見識の深さに感銘を受けていましたが、この本を読むことでその謎(?)が解けたように思います。

●『働く君に贈る25の言葉』

(佐々木 常夫 著 WAVE出版)

助教(有期)として教育・研究に向き合っているときに、父親から紹介された本。著者によれば「20〜30代の若いビジネスマンに、私がこれまでの人生のなかでつかみ取ってきた、幸せに働き、幸せに生きるための『エッセンス』をまとめました」とのことですので、学生のみなさんには在学中に一度は読んでほしい本です。自分自身の立場(役職)が変わるたびに読み返していますが、そのときどきで新たな発見があることが印象的です。著者による「そうか、君は課長になったのか。」もすばらしい本ですので、興味がある方はこちらもどうぞ。